

ときわ会 常磐病院では、
地域の医療施設・介護施設との
連携を強化するため、
当院の最新の医療情報を定期的に
お知らせしております。

Vol.
45

2022年4月30日発行

常磐病院 血液内科医師紹介

～森 甚一医師へのインタビュー～

血液内科の森 甚一医師にインタビューをおこないました。
ぜひご覧ください。



Hematology Doctor

血液内科医師のご紹介

森 甚一

MORI Jinichi

●職位

診療部長、内科部長
福島県立医大エビゲノム分子医学研究講座 准教授

●資格

日本内科学会 認定内科医
日本血液学会認定血液専門医、指導医

●経歴

平成19年3月 順天堂大学医学部医学科卒業
平成19年4月 都立駒込病院入職
平成25年4月 東京大学大学院新領域創成科学研究科
メディカルゲノム専攻入学
平成28年3月 東京大学大学院新領域創成科学研究科
メディカル情報生命専攻卒業
平成28年4月 ときわ会常磐病院

常磐病院の血液内科の特徴を教えてください。

当院は診療ニーズが多様ですので、基本的にお断りすることなく何でも診ています。緊急性のある方については、なるべく早い診療対応ができるよう努めています。私は東京出身ということもあり都内の病院などとの繋がりもあるため、患者様にとって一番良い治療を他の病院と連携しながら提供していく事を大事にしています。また福島県立医大病院とも関係が深いため、治験などが必要な場合は紹介等をおこない連携を図っています。

インタビュー INTERVIEW



Q1 血液のがんには、 どのようなものがありますか？

A1 早急に治療が必要な急性白血病、早急な治療は必要としないが専門医の経過観察が必要な慢性的な白血病などがあります。当院は症例数の少ない血液のがんの患者様も診療しています。

Q3 血液がん早期発見のために必要な 検査などがありますか？

A3 最低一年に一回は採血で血算をとっておいた方がいいかなと思います。健康診断の項目に入っていますので、きちんと健康診断を受けていただければ問題ないと思います。
しかし一部の血液がんは、実は早期発見を意識する必要はありません。固形がんは早期発見して手術して取り除くことが必要ですが、血液がんの発見時期は、治療には大きく影響しないことが多いです。

Q5 治療にあたって大切にしている事は 何かありますか？

A5 治療だけをおこなうのではなく、その先の問題を解決していくことを意識しています。困っていることは病気から起因するような痛みだけでなく社会的背景も含めて解決できないかと考えています。できないから諦めるという事ではなく、必要なことは改善できるようにしないといけないと考えています。

Q2 血液がんの罹患数に 傾向や特徴はありますか？

A2 白血病は、基本的には高齢者の病気なので高齢化に伴いいわき市においては多いかなと思います。当院で一番多いのが骨髄異形成症候群でこの病気は白血病の前段階なんですけど、広い意味で捉えれば骨髄の老化現象です。血球が減少してしまい進行していくと最終的に白血病になってしまう病気です。私自身が診療している中でも骨髄異形成症候群が一番多い疾患です。

Q4 血液がんの治療法について 教えてください。

A4 一般的にいう化学療法は2つあって、一つは抗がん剤治療。この治療は正常な細胞も悪い細胞も同じように傷をつけますが、がん細胞に多くの傷を与えることで、その差を利用して治療していくのが抗がん剤治療になります。もう一つは分子標的治療で、この治療はがん細胞に多く出ているタンパク質等の物質を狙って攻撃をしていくというお薬による治療です。昔ながらの抗がん剤のような治療の役割は狭まってきていて、一方で分子標的治療薬は発展してきています。

Q6 いわき市内の医療機関の先生方へ メッセージをお願いいたします。

A6 専門医の診断や管理が必要な疾患ですので、疑問点や気になる患者様がいらっしゃいましたら、なるべくお断りしないよう診療をしていきますので、ぜひご相談ください。

ありがとうございました。



ときわ会常磐病院では、診療科の増加に伴い診察可能な疾患も増えました。
患者様のご紹介に関しまして、今後もお気軽にお問い合わせくださいますようよろしくお願いします。

公益財団法人ときわ会 常磐病院 (院長 新村浩明)
地域医療連携課

窓口受付/毎週月曜日～金曜日 8:30～17:00

〒972-8322 福島県いわき市常磐上湯長谷町上ノ台57番地

TEL:0246-43-7399 / FAX:0246-43-7000